



自信と誇りと感謝を胸に！

小野中学校だより

第 17 号

文責：校長 大河原久宗

2019.1.8.TUE

TEL:72-3355 FAX:72-2829

＜教育目標＞

【夢～自立・友愛・健康】

・課題を持ち、進んで学ぶ生徒

・互いのよさを認め、高めあう生徒

・健康で、心身を鍛える生徒



平成30年度 3学期始業式！



明けまして、おめでとうございます。子どもたちが、こうして元気に集うことができ、うれしく思います。

冬休みはどうでしたか？「ありがとうございました。」の感謝の言葉を心を込めて言うことができましたか？ 3学期多くの人に見守られながら過ごすことになります。感謝の気持ちを素直に表現できる自分を大切にしてください。

さて、第95回東京箱根間往復大学駅伝競走は1月2、3日、東京・千代田区大手町の読売新聞社前～神奈川・箱根町の芦ノ湖を往復する10区間217・1キロで開催され、3日の復路（5区間109・6キロ）は2位でスタートした東海大学が8区で小松陽平（3年）選手の区間新記録の力走で東洋大（往路1位）を逆転するとそのまま逃げ切り、10時間52分9秒の大会新記録（5分以上短縮）で、初の総合優勝を飾りました（往路2位・復路2位）。ゴール地点の読売新聞社前では10区の郡司陽大（3年）選手がゴールテープを切ると、歓喜の輪ができました。そして郡司選手や両角速監督（52）が胴上げされ新春の大手町の宙を舞いました。両角監督は初優勝に「信じられないような心境ですが、うれしい」。勝因については「10人の選手が、やってきたことに自信を持ってやってくれたことに尽きる。（これまで）悔しい思いがあったが、そこ（＝箱根駅伝での優勝）に向けてチャレンジ、挑戦していく姿勢が発揮されてうれしい」と語りました。

3学期も「夢への挑戦」は続きます。何事にも挑戦していくことを忘れずに「元気・根気・本氣」で取り組み、やってきたことに自信と誇りを持つことが大切ですね。頑張れ！小野中生！寒さに負けず、今年も頑張りましょう。【1/4のポータルサイトより】

新しい年の初めにあたり、今よりさらにいい学級・学年・学校だったとだれもがいえるものにするために、もう一歩の前進をして一年のまとめをしっかりしてほしいと思います。そのために、日々の生活の中で心がけてほしいことをお話しします。

それは、「他の人のために何かできないか」考えてほしいのです。自分が困ったり、苦しんでいるとき、助けられ、励まされ、感謝した体験は誰にでもあると思います。集団の中の一人として生活する時、自分のことだけ考えていたのでは、楽しく、充実した学校生活は送れないことも十分わかっているはずです。まず、自分から、他の人のために何かをすることによって、自分自身が助けられ、自分がここにいることの意味が実感できるのです。学校行事、生徒会活動、部活動、学級・学年活動を中心に、一人ひとりが、「他の人のために何かができる」時、より楽しい学級や学年、学校になるのです。何かをすることが他の人のためばかりではなく、自分自身のためであることを心にきざんでほしいものです。充実した3学期にしましょう。



8区で小松選手に給水する三上選手（2019）

3学期の行事のメインは「卒業式」でしょう。3年生にとっても1・2年生にとってもこの1年の中で最高の思い出になるような式にするためにも、「他の人のために何かできないか」を考えて生活してほしいのです。



間往復大学駅伝競走 ★ SAPPORO

3年生にとっては、進学（入試）や就職に向けて忙しい時期かもしれません。忙しい時期だからこそ、心にゆとりをもち、「他の人のために」と考えることは大切だと思うのです。そんな生徒が通う学校であってほしいです。誰かの笑顔のために頑張る、すてきなことだと思いますか。そんな心をみんなで持てたらすてきな学校になるのでしょうかね。

今日から始まる52日間（46日間）
「誰かの笑顔のために」、「他の人のために何かできないか」の心で生活し、
猪突猛進「どんどん突き進める」よい年になることを願っています。

